

令和4年度第47回冬休み子ども読書感想文と手紙作品コンクール（主催：茨城県読書推進運動協議会、後援：茨城県教育研究会学校図書館研究部、茨城新聞社、茨城県立図書館）の入賞者が決定いたしました。

県内の幼児、小学生、中学生を対象に、それぞれ7点の課題図書感想文と手紙作品を募りました。本年度もコロナ禍の中での開催となりましたが、昨年度を上回る応募があり、最終審査の結果、最優秀賞5点をはじめ、優秀賞、優良賞、佳作に多数の作品が入賞しました。入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。また、残念ながら入賞されなかった皆さんに対しても、その努力に心からの称賛をお贈りします。

幼児の部、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部、中学校の部の5部門それぞれの作品を読ませていただくと、発達段階の違いはありますが、読書をとおして感じたことや考えたことを、自分の言葉で豊かに表現することができていました。読書をとおして学んだことや新たな気付き、発見をしたことなどがたくさん書かれており、読み手も書き手の気持ちになって読書の喜びを共感することができました。また、物語の登場人物と自分自身の現在の状況を重ね合わせたり、登場人物の心情に寄り添って語りかけたりすることで、自分自身を見つめ直すことができていました。さらに学年が上がると、広い視野から自分の考えを深めることができていました。読書をとおして得られた気付きや発見をもとに、一生懸命文章にまとめた経験は、今後の生活の中で生かしていけることと思います。

このコンクールの良さは、幼児から中学生まで幅広く応募できることです。さらに多くの皆さんの応募をお待ちしております。

審査委員長 茨城県教育研究会学校図書館研究部長
水戸市立妻里小学校長 橋本 浩志